○コートリル錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】ヒドロコルチゾン（U）　Hydrocortisone　【分類】糖質副腎皮質ホルモン剤
【単位】○10mg/錠
【常用量】10～120mg/日［適用症は添付文書参照］
【用法】分1～4■原発性下垂体機能低下症には日内変動を考えて15～20mg/日を1日2回として朝食後に多く投与する
【透析患者への投与方法】常用量（3）
【保存期CKD患者への投与方法】常用量（3,12）
【特徴】ヒドロコルチゾン製剤．ミネラルコルチコイド作用も有するため，Na貯留，低K血症などに注意.
【主な副作用・毒性】誘発感染症，白内障，緑内障，骨頭無菌性壊死，ミオパシー、副腎皮質機能不全など
【吸収】100%（11）100%（14）95.9%（1）
【F】初回通過効果を受けて9～74%が消失（11）
【tmax】1～2hr（1）
【代謝】CYP3A4で代謝（1）肝で急速に代謝され，腎やその他の臓器でも代謝を受ける（U）グルクロン酸抱合，テトラヒドロ化合物に代謝（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率1%（14）1%未満（1）非活性代謝物として腎から排泄（U）尿中回収率60～70%［po，24hrまで］（1）
【CL】350～500mL/minで投与量に依存（10）18.2L/hr［iv］（1）
【t1/2】1.5～2hr（U）1.3～1.9hrで投与量に依存する（10）90（60～120）min（11）1.5～2.0hr（12）
【蛋白結合率】very high（U）75%（1）75～95%（10）トランスコルチンに80%、アルブミンに10%結合（11）
【Vd】0.3～0.5L/kgで投与量に依存する（10）0.4～0.7L/kg（11）33.7L/man（1）
【MW】362.46
【透析性】低いと思われる（5）資料なし（1）
【TDMのポイント】有効治療域50～250ng/mL（14）ただし，コルチゾールの血中濃度は変動が大きく補充量の指標にはならない
【O/W係数】高い（11）資料なし（1）
【相互作用】リファンピシン併用により薬効が減弱した副腎不全の1例（松山桃子，他：日腎会誌 59: 725, 2017）生ワクチン禁忌（1）
【最大効果発現時間】1hr
【効果持続時間】1.25～1.5日（ステロイドの作用持続時間は臓器内の生物学的半減期に依存する。
【更新日】20240814

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。